

2026年2月18日 自然ふれあい交流館
作成：小川由真

1月13日～2月10日の森

植物・果実

※帰化植物（植栽含む）

木本

- ・アカミヤドリギ
- ・イワガラミ
- ・カラマツ※
- ・ケヤマハンノキ
- ・ツタウルシ
- ・ツルアジサイ
- ・ナナカマド
- ・ノリウツギ
- ・ヤドリギ



ツルアジサイ果実



オオカメノキ冬芽

野鳥

- | | |
|---------|----------|
| ・アオサギ | ・ツグミ |
| ・アカゲラ | ・ハイタカ |
| ・ウソ | ・ハクセキレイ |
| ・エナガ | ・ハシブトガラ |
| ・オオアカゲラ | ・ハシブトガラス |
| ・カケス | ・ヒガラ |
| ・キクイタダキ | ・ヒヨドリ |
| ・キバシリ | ・フクロウ |
| ・クマゲラ | ・ヤマガラ |
| ・コゲラ | |
| ・トビ | |

ツグミは1羽のみの目撃だったりと、冬鳥が今回も少なめでした。

足跡や痕跡を観察しよう

野幌森林公園では哺乳類の多くが冬も活動しています。
雪の上は痕跡が探しやすいので、どこでどんな動きをしているか観察するチャンスです♪



この時の歩幅は約1.5mでした

《想像してみる》



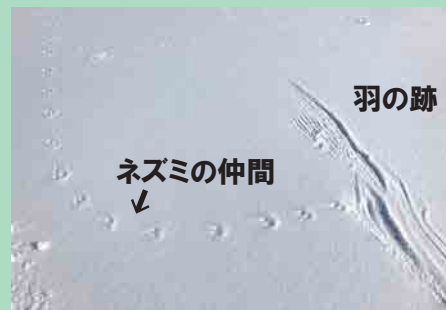
縦横無尽についた足跡は何匹いたのかどこからどこへ行ったのか想像が掻き立てられます



行って戻ってきた
キタキツネの足跡



キタキツネが歩いている
途中で雪を掘った跡



ドラマチックな痕跡があることも…

野幌森林公園内では
遊歩道からはずれない範囲で
観察を楽しみましょう

《隣を歩いてみる》



雪に埋まらず歩いている様子が
実感できます

哺乳類

※外来種

- ・アライグマ足跡※
- ・イタチの仲間足跡
- ・エゾシカ足跡
- ・エゾユキウサギ足跡、糞、食痕
- ・エゾリス姿、足跡
- ・キタキツネ足跡
- ・ネズミの仲間足跡

足跡の特徴を調べてみよう

キタキツネ



ほぼ一直線に足跡が並びます

エゾリス



びっくりマーク！が二個並んでいるような足跡がつかます

現在通行
できません

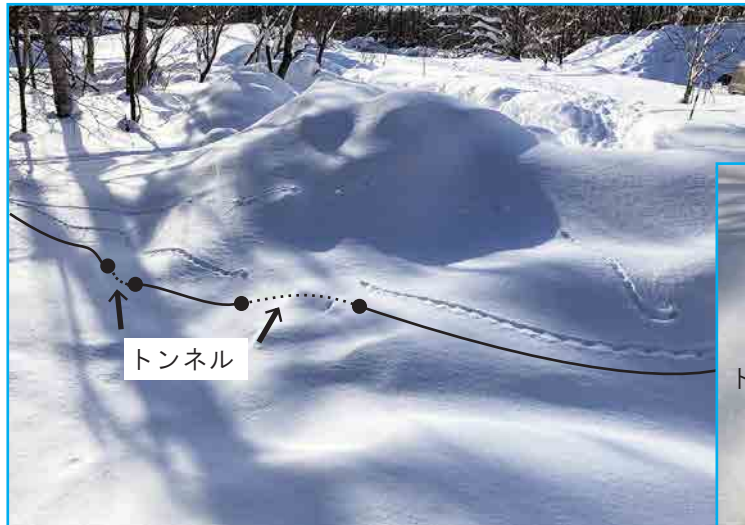
自然ふれあい交流館 周辺地図



ネズミの仲間



左右の足跡の間に
尻尾の跡がつかます



雪の下にトンネルを作って活動しています



枝やササに残る食べ跡は、まるでカッターで切ったような切り口です。

エゾユキウサギ



ケン・ケン・パの並びで足跡がつかます

エゾタヌキ



キタキツネよりもジグザグの足跡で、おなかをすったような跡もつかます

エゾシカ



ひづめの跡がつかます



深く足跡がつかます

- 冬期間も
道からはずれないで！
- ①遊歩道から外れない
 - ②動物、植物をとらない
 - ③ゴミを捨てない

森じょうほうの最新号は、自然ふれあい交流館ホームページで見られます